

文化遺産を活かした地域活性化事業実施報告書

①都道府県・市区町村名	長崎県長崎市	②補助事業の種類 (どちらかに「〇」)	I	地域の文化遺産次世代継承事業
			II	世界文化遺産活性化事業
③実施計画の名称	長崎市の世界遺産を活かした地域活性化事業			
④実施計画期間	平成 28 年 5 月～平成 29 年 3 月			
⑤過去の補助事業実績				
平成 2 3 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円	
平成 2 4 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円	
平成 2 5 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			6, 850 千円	
平成 2 6 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			7, 190 千円	
平成 2 7 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			9, 382 千円	
⑥計画の実施状況 (概要)				
※平成 2 8 年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。				
平成25年度				
(1) 記録作成・調査研究事業				
①歴史的写真・映像の収集・保存				
長崎県内の近代化遺産 1 0 0 件程度の概要等をまとめ、写真撮影および収集を行った。				
(2) 情報発信事業				
①ホームページ制作 (日本語・英語・中国語・韓国語)				
長崎の近代化遺産の歴史等をまとめ、英語・中国語・韓国語版も制作した。				
②近代化遺産パネル展実施				
パネルを製作し、長崎の近代化遺産の歴史や果たした役割等を周知するパネル展を開催した。				
(3) 普及啓発事業				
①テレビ局とのタイアップ (PR用DVD制作)				
長崎の近代化遺産と世界遺産暫定リスト入りした資産を中心に紹介する DVDを制作した。				
②子ども向け学習ブック (簡易版) 制作				
16ページ立ての子供向け冊子を制作した。				
平成26年度				
(1) 普及啓発事業				
①長崎近代化遺産夏休み子ども向け体験イベント				
長崎県内の子どもを対象に、近代化遺産について初歩的な内容を伝えるブースを出展し、近代化遺産に親しんでもらうイベントを行った。				
(2) 記録作成・調査研究事業				
①記録写真・映像資料を活用した教育番組および特集記事の製作				
平成25年度事業で収集・撮影した長崎県内近代化遺産の写真数十件をベースに、遺産の概要や果たしてきた役割等を考察し、長崎の近代化遺産の意義や価値の理解を深められる内容の映像および特集記事を製作した。				
平成27年度				
(1) 情報発信・人材育成事業				
①子ども向け学習ブックの制作				

県内の子ども達が、近代化遺産について、マンガやイラスト等を多用した、分かりやすく学ぶことができる内容で学習ブックを作成した。

②子ども向け学習ビデオの製作

県内の子ども達が、近代化遺産の基本的な内容を理解できるような映像DVDを製作した。

(2) 記録作成・調査研究事業

①長崎県内の炭坑・鉄鉱・造船に係る調査研究

長崎県内の炭坑（高島炭坑、端島炭坑ほか）、造船（三菱造船所ほか）に係る調査研究を行い、調査報告書を作成した。

(3) 普及啓発事業

①子ども向け学習ツール「近代化遺産トレーディングカード」の制作・配布

長崎県内近代化遺産 50 種類程度の基本的情報を記載した「近代化遺産トレーディングカード」を作成した。

高島炭鉱跡活用活性化事業

(1) 高島炭鉱跡に関する総合的な情報発信、普及啓発事業

②高島炭坑写真展 昭和の閉山時の未公開写真を中心にした写真展を開催した。

会場：高島町内施設

会期：一ヶ月間

②高島炭坑稼働期から閉山時までの写真集を製作した。

平成 28 年度

多言語音声ガイド作成事業

(1) 情報発信・人材育成事業

①多言語音声ガイドの作成

読取ソフトウェアをインストールしたスマートフォンでコードを読み込むことにより、多言語で音声ガイドを聞くことができ、この際に読み込むコード及び読取ソフトウェア（アプリ）を作成した。

明治日本の産業革命遺産活用事業

(2) 地域の文化遺産情報発信、人材育成事業

①明治日本の産業革命遺産 紹介・学習用 DVD の制作

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」について、国内にある 23 の構成資産について、映像撮影や過去の写真・映像の収集および関係者への取材を行い、産業遺産の歴史や果たしてきた意義を学習できるDVDを製作した。

⑦事業実施による効果等の検証・分析結果

※平成 28 年度までの計画の実施により得られた効果や実施以後の状況（人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果）を具体的に記載してください。

平成 25 年度

近代化遺産の観光客にとって、近代化の歴史に関する正しい認識の手助けとなったと考える。ファン層を拡大することによってリピーターを獲得し、クチコミによる宣伝やローカルニュース番組等による情報発信によって中長期的な効果も期待できた。

長崎の近代化遺産は、他の地域に先行して建造されたものが多く、日本の近代化に果たした役割は極めて大きく、歴史や意義をまとめた子供向け学習冊子・DVDの制作により、遺産管理者の公開・活用

への機運の醸成、世界遺産登録への理解者を増やす効果があったと思われる。また、個人客・団体客（修学旅行含む）に対し、学校関係者や観光関係者が教育や旅行に近代化遺産を取り込むことができ、長崎県の観光振興へつながったと考えられる。

事業終了後においても本事業の成果は活用されており、子供向け学習ブック（簡易版）は長崎市、長崎観光コンベンション協会の依頼により、子供向けイベントでの副読本として数百冊提供・配布を行っている。その他、本事業で製作したパネル展のパネルは、長崎市立子ども科学館の展示企画展に貸出した（H26.12月～H27.3月）

平成 26 年度

（1）普及啓発事業

①長崎近代化遺産夏休み子ども向け体験イベント（参加者：11,000名 目標値：2,500名）

県内の子どもに、近代化遺産に対する興味を持ってもらい、地域にとって重要なものであることを理解してもらえ効果があったと考える。（達成率 440%）また、関係者や遺産管理者の意識も啓発でき、継続性を持たせた取組みにつながっていると考える。

（2）記録作成・調査研究事業（50分DVD作成、特集記事3編作成）

①記録写真・映像資料を活用した教育番組および特集記事の製作

近代化遺産の概要や果たしてきた役割、意義等を伝えるため、新たに遺産の調査・取材を行い、遺産の意義等、史実に基づいた考察を行った。そのうえで、一般人が分かりやすいコンテンツを製作することで、県内全域への今後の啓発活動が行える効果が考えられる。

平成 27 年度

（1）情報発信・人材育成事業

平成 26 年度に行った普及啓発事業に継続性を持たせるため、本事業を行うことにより、県内の子どもに、近代化遺産に興味を持ってもらい、地域にとって重要なものであることを理解してもらう効果があったと考える。DVDの製作は目標どおりであったが、子供向け冊子は、50ページの予定が36ページになり、500冊の予定が300冊となった。（達成率約43%）

冊子やDVDは、子供向けの講和や、近代化遺産研究会による講習会や関係者への情報提供として活用したほか、市民会館にて「長崎歴史の学校 世界遺産学習コース」を実施する際に活用予定である。

また、夏休み時の子供向け産業遺産の講話会でガイドブック、トレーディングカードを使用する予定であり、県内の図書館や図書室にガイドブックを各1部ずつ贈呈する予定である。

（2）記録作成・調査研究事業

明治日本の産業革命に、長崎県内の近代化遺産が果たした役割を整理することにより、県内全域への今後の啓発活動が行える効果が考えられる。

（3）普及啓発事業

子どもたちが興味を持つ遊びの中から、自然に明治日本の産業革命遺産に対する知識習得の効果があったと考える。トレーディングカードの種類は目標通り50種であったが、枚数は5000枚の目標が3000枚となった。（達成率60%）

活用実績については、（1）情報発信と同様である。

(1) 高島炭鉱跡に関する総合的な情報発信、普及啓発事業

2015年7月世界遺産登録になった高島の北溪井坑跡は、現在、往時の炭鉱遺構の面影は薄く、訪れる人も少なかったが、写真展開催期間中には約3,000人の来場者を獲得することができた。高島炭鉱の稼働していた当時の写真を展示することによって、近代化の炭鉱発祥地である海底炭鉱の島への理解を深め、高島炭鉱の歴史や日本の近代化への貢献について理解を深めてもらうことができた。また、高島炭鉱の写真集を製作し、多くの方の目に触れる機会を設けたことで炭鉱の島であった記憶を未来へ継承することに繋がった。

平成28年度

多言語音声ガイド作成事業

(1) 情報発信・人材育成事業

スマートフォン等で音声ガイドを聞くための読取アプリ及び読取コードの作成を行った。

外国人観光客が端島に関する歴史や文化、世界遺産の価値などを理解するための手段を拡充することで、満足度や理解度の向上につながる。

今後、同ガイドの周知や利用促進により、更なる観光客の誘致につなげることができる。

当初、事業終了時期を平成29年1月31日としていたが、平成29年3月15日に変更承認申請を行い、承認を得ているが、事業終了時期が遅れたため平成28年度は読取アプリ及び読取コードの作成に留まった。

明治日本の産業革命遺産活用事業

(2) 地域の文化遺産情報発信、人材育成事業

本計画の実施により、遺産管理者の公開・活用への機運の醸成、世界遺産活用への理解者を増やす効果があった。また、現在急増している近代化遺産の観光客に対し、遺産が果たした役割に関する正しい認識をしてもらい、ファン層を拡大することによってリピーターを獲得し、クチコミ等による情報発信によって短中期的な効果も得られたと思われる。

更に今後は小中高生が視覚的に遺産の歴史や価値等を学ぶことができるツールとして活用することにより、保存・活用の重要性を今のうちから教育の一環として周知させ、中長期的な効果も得られたと考える。

製作したDVDの試写会を開催し、アンケート調査を実施したところDVD視聴後に「遺産が果たした役割や意義等の理解度が深まった」が83%と、目標であった70%の割合を上回った。(達成率118%)